会 議 録

	大 中
会議の名称	令和 5 年度 第 1 回戸田市保健対策推進協議会
開催日時	令和5年6月14日(水)(午後2時~午後3時10分)
開催場所	戸田市福祉保健センター1階 集団指導室
出席者	学識経験者(埼玉県立大学教授): 北畠 義典 蕨戸田市医師会:早舩 直彦 埼玉県南部保健所:安達 昭見 戸田市薬剤師会:成塚 康之 戸田市社会福祉協議会:松山 由紀 戸田市町会連合会:永井 富治 公募による市民:前野 裕子 公募による市民:小川 敬洋 公募による市民:髙橋 美幸
欠席者	蕨戸田歯科医師会:板橋 裕 戸田市商工会:金子 秀一
事務局	健康福祉部 櫻井部長 福祉保健センター 木村所長、遠藤課長、石原課長、仙波課長、 長谷川主幹、新井主幹、野口副主幹、中島副主幹、宮崎主任
議題	(1)SWC 推進プラン策定について(2)今後の SWC 推進プランの策定スケジュールについて(3)福祉保健センターの新規事業等について(4)その他
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	・次第 ・委員名簿 ・資料 1 : 戸田市におけるスマートウエルネスシティ推進のイメージ ・資料 2 : SWC 推進プランの位置づけ ・資料 3 : 策定スケジュール概要案

(会議発言の経過)

(会議発言の経 発言者	過り 議題・発言内容・決定事項
事務局	開会
事務局	出席委員数報告をする。本日の出席委員数は9名、委任状提出2名。本協議会要綱第6条第2項により本協議会の会議は成立した。
	会長・副会長選任及び挨拶
	諮問
	 議事
	(1)SWC 推進プラン策定について
会 長	事務局より説明をお願いする。
事務局	SWC 推進プラン策定について説明
	(SWC:スマートウエルネスシティ)
会 長	何か意見・質問等はあるか。
	戸田市はいつから SWC に加入しているのか。
	SWC は身体活動を増やすということが中心となっているが、第4次健康増進計画では、運動や身体活動を増やしていく方向なのか。
事務局	SWCには2019年3月より加入している。計画については、自然に歩いて健康
	になるという考えのもと、ハード面の道路整備や社会とのつながりを踏まえながら
	身体的な健康を求めていくような方向である。
会長	資料 2 にあるウォーカブル推進プラン (ウォーカビリティ)では、道路を整備す
	れば人は自然と歩き出すという理念のもと、健康日本21の第2次では環境を整え ていくということで、令和5年3月まで推進していたが、戸田市はハード面の環境
	整備はこれから整えていくのか、又はすでにそういった環境は整っているのか。
事務局	ウォーカブル推進プランの進捗状況としては、ハード面の整備は進んできてい
	る。計画を策定していくなかで、駅前周辺の代チャリ設置など新たなプランを進め ている。
会長	環境を整えた後にどう活用するか、そのための広報・宣伝が重要となってくる。

副会長

バイシクル推進プランは今後広げていくのか。

よく自転車を使用し、自転車の通行領域として記載されている青色矢印部分を走行しているが、こわいと感じる時がある。事故等は発生していないか。

事務局

バイシクル推進に係る会議において、自転車の通行空間の整備という想定もあり、走りやすい場所としてのサイクリングロードの整備等についても市民の意見を取り入れながら計画している。また、市民から同じように青色矢印部分を走行時に怖いと感じる等の意見が出ているが、現在事故が発生しているという事例は出てきていなかった。

議事

(2) 今後の SWC 推進プランの策定スケジュールについて

会長

事務局より説明をお願いする。

事務局

今後の SWC 推進プランの策定スケジュールについて説明

会長

計画策定にあたり、TWR はどの様にかかわってくるのか。

事務局

戸田市が SWC 首長研究会に加入していることから、計画を策定するにあたり TWR に計画策定の委託業務をしている。そのため、庁内で行っているまちづくり推 進庁内会議においても、SWC 推進プランの理念構想について共通理解を図っている。また、市が行っているアンケートの分析なども含め包括的にお願いしている。

委員

SWC 推進プランにおいて、健康増進計画、食育推進計画、歯科口腔保健推進計画、自殺対策計画、がん対策推進計画を一体化するということでよいのか。また、それぞれの計画の終わりは全て同じであったのか。

事務局

健康増進計画、食育計画、歯科口腔保健推進計画、自殺対策計画が今年度で終了し、がん対策推進計画が新たにスタートする。そのため、SWC 推進プランにおいて一体化を図る。

委員

6月に行った庁内推進会議について、担当課と記載があるが、どのような課が参加したのか。

事務局

まちづくり庁内推進会議においては、環境経済部や都市整備部等から委員を選出し会議を行っている。

会長

計画を策定するにあたり、戸田市独自の課題をどのように解決・対策していくの

かをこの協議会で検討していければと考えている。

委員

今後のスケジュールについて、施策ヒアリングとパブリックコメントの違いは何か

事務局

ヒアリングは、連携して事業を行うため、関係各課の計画等について実状を把握するために行い、パブリックコメントについては、計画の概要が決まり次第、広く市民の意見を聴くために行うものである。

委員

SWC について、戸田市と同じように健康増進計画を包含するような計画を策定した先行市はあるか。

事務局

健康増進計画の中にまちづくり(都市施策)を包含した計画を策定している市は、京都の八幡市がある。

議事

(3)福祉保健センターの新規事業等ついて

会長

事務局より説明をお願いする。

事務局

保健政策・感染症対策担当が行っている業務について説明

主に福祉保健センターの施設管理、予防接種、がん検診、健康診査を担当しており、新規事業としては、HPV ワクチンの積極的勧奨が再開され、2 価、4 価に加えて、9 価ワクチンも公費負担の対象となった。がん対策では、ウィッグなどの医療補正具の購入費補助や若年がん患者のターミナルケア在宅療養への補助を4 月より開始した。また、妊婦健康診査において、産後健診についても、検診費用の助成を行っている。

成人保健担当が行っている新規業務について説明

高齢者の運動・スポーツの習慣化のために、昨年12月に南小学校の4年生126名を対象にオリンピアン・パラリンピアンの方から健康における運動の楽しさ、大切さを学ぶキッズ健幸アンバサダー養成講座を実施し、子どもたちから高齢者へ運動の楽しさ大切さを伝えるメッセージ動画を作成した。今年度も引続き市内小学校5校に拡大し実施予定である。

ひきこもり支援対策について、昨年度からひきこもり支援対策意見交換会において、関係他機関と課題や情報を共有している。今年度においても、国が自治体に求める居場所づくりの検討を行い、今後も窓口の周知、精神科受診への協力、連携など様々な課題を検討していく予定である。

親子保健が行っている業務について説明

主に乳幼児の健康診査、妊産婦の心身の支援、妊産婦及び乳幼児への保健指導を担当しており、新規事業としては、戸田市産後ケア事業や妊娠期から出産・子育て期まで一貫して、相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ「伴走型の相談」と「経済支援」を一体的に実施する「伴走型支援事業」を開始している。

副会長

HPV の予防接種において、9 価が公費の対象となり、予防する効果が高いといわれている。蕨市では対象者へ接種勧奨を行っているが、戸田市では勧奨を行っていない。今後どのような対策をするのか。

事務局

昨年9月より積極的接種勧奨が再開され、戸田市でも勧奨を行っている。今年度から9価が加わり、戸田市としても対象を広げ勧奨することを検討している。

副会長

蕨市の市長公約に帯状疱疹ワクチンの助成があるが、戸田市はどうか。東京は都が二分の一、区が二分の一を助成している。埼玉県でも検討中とは聞いている。

事務局

近隣市の状況を見つつ、検討していく。

委員

戸田市は県境という位置から東京と比較されることが多い。東京都は高校生の医療費の無償化を行っているが、戸田市として今後の見通しはどうか。

事務局

中学生への無償化への対応はしているが、高校生までの無償化については未定である。

会長

市町村を選ぶポイントとなるが、各市町村の財源や考え方もあるので、なかなか 一斉に実施されるのは難しいのではないか。

会長

先ほど引きこもり件数が 1,485 件とあったが、この数値はどのようにして出てきた数値なのか。

事務局

国の調査から、戸田市の人口からの推定値となる。

会長

ひきこもりになってしまった人は、どうしてよいか分からなくなっている。相談する場所があることを周知することも重要である。また、いつだれがなるか分からないものなので、教育機関の中で、そういった場合に相談できる場所があるということを伝えていくことも重要である。

高齢者の方への運動習慣化の取り組みをしている話が出たが、「運動」というと強いイメージから嫌悪を感じる方もいる。健康日本21の第2次からは「運動」から「身体活動」へ言い方を変えている。拒否感をもたれることなく体を動かしていけるようにするといいのでは。

会長	議事 (4)その他について何かあるか 特になし	
	次回の開催について 7月末~8月頃を予定している。	
	閉会	以上